

---

## 川上川と品濃口

川上川は平戸永谷川の支流で大倉陶園の南側でYの字形となって分岐している。

しばらくJRの北側を遡上し旧大昌電気工業（現在マンション）の辺りで線路を潜り小糸工業の南西に出る。小糸工業の南西を東に流れ国道1号線を潜り品濃口へと続く。面白いというか不思議というか品濃口の手前シャトレー戸塚の南でV字形に流れを変え北上する。このV字の底と平戸永谷川との距離は僅か十数メートルしかない。何故ここで合流せず反転したのであろうか。

品濃口からはほぼ北へ品濃町を遡上しJR東戸塚駅近辺で東から流れてくる通称「品濃川」と合流し本流は西へ遡上し戸塚カントリークラブ辺りとされている源流に至る。

さて「品濃口」であるが文字通り品濃町の玄関口である。

今でこそ品濃町・川上町はJR東戸塚駅・横浜新道・環状2号線など出入り自由であるが、その昔はこの品濃口が唯一の出入り口であった。

例えばミスターK。昔は品濃町の一番奥に住んでいたので小学校・中学校の通学、そして就職してからの通勤も全てここに出なければ外界へと出て行かれなかったのである。まあ言うなれば袋のネズミみたいな状況だったのである。

品濃口から川上川と並行して北上する道が旧東海道である。

いまの国道1号線は平戸を通り狩場へと抜けているがこの道が開鑿されたのは明治17年（1884年）のことで、しばらくは新道と称していたのである。

旧東海道は坂下から品濃坂を登り坂上・谷宿と平戸町との町境の尾根道を抜け境木へと至っている。その先は権太坂・保土ヶ谷元町・帷子町・天王町・浅間町・鶴屋町さらに川崎・江戸へと向かっていた。